

令和6年度

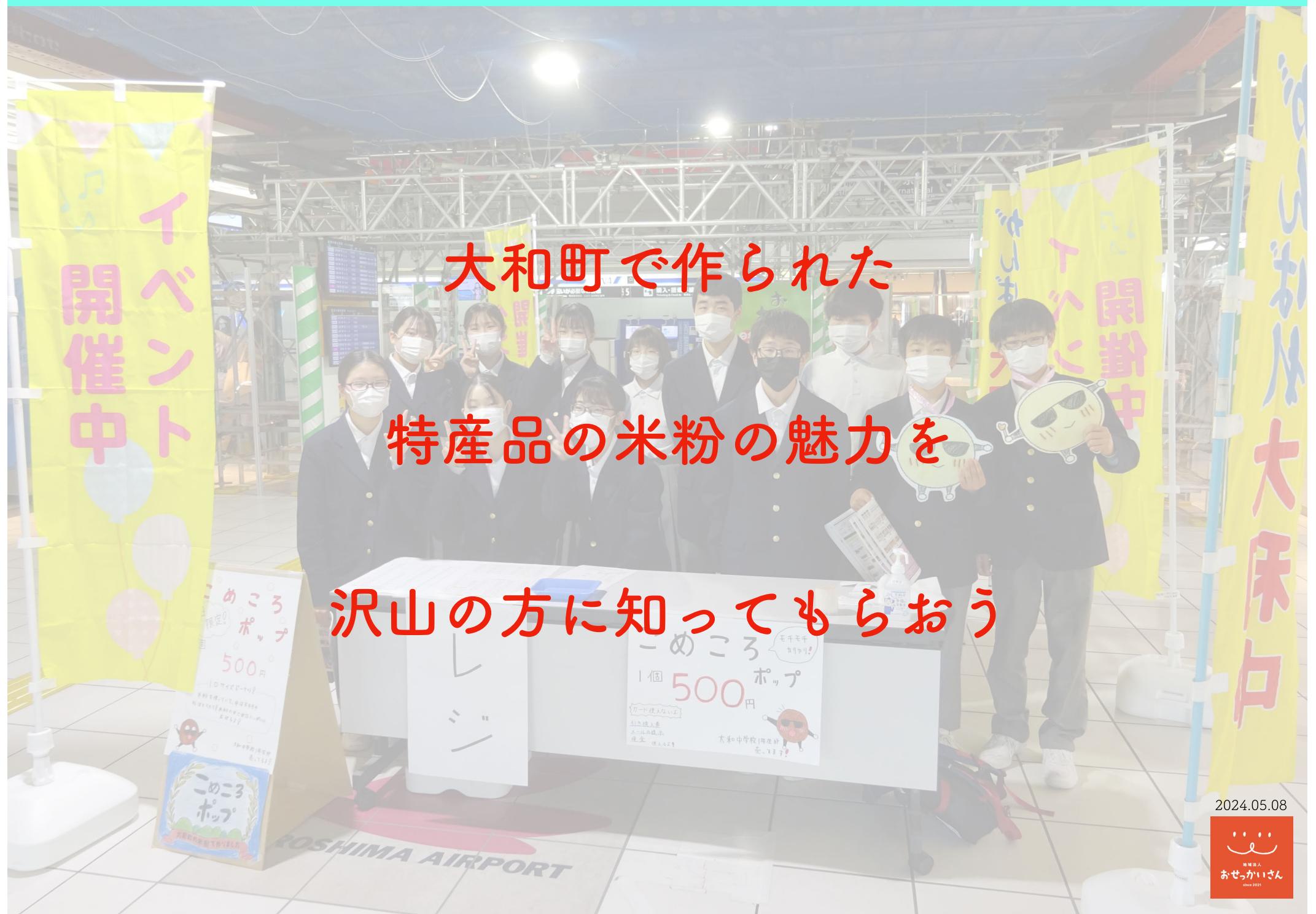
# 大和町特産品の 米粉を使った食品開発

増田製粉 × 大和中学校 × 地域法人おせっかいさん

2024.05.08



最終的なビジョン



## ■米粉とは

日本人の主食として馴染み深いお米。このお米を細かく碎いて粉状にしたものが「米粉」です。近年では、「米粉」として新たな使い方・食べ方が広がっています。小麦粉の代用としても注目され、需要が高まっています。

## ■原料に関して

米粉（こめこ）とは、お米を細かく碎いて作られる粉状の食品です。国内で生産されている米粉の多くは、うるち米、もち米といった精白米を原料としています。ほかにも、玄米から製粉した玄米粉があります。

古くは奈良時代から、米菓や和菓子などで米の粉としての利用はなされてきましたが、近年はパン、ケーキ、麺類などへの用途が広がっています。小麦粉等の代替できる米粉の利用を増やすことで、国産米の消費量が伸び、食料自給率アップや米を生産する水田を守ることにもつながります。

## ■大和町の米粉

米粉用米は、国政策もあり年々生産量が増えています。令和4年産は過去最高で4.5万トン。ちなみに主食用米は691万トンです。広島県では519トンを生産しており、その内80%の417トンを大和町で生産しています。これは、中四国市町村で一番多い生産量であり、全国で22番目になります。もち米の米粉用米にしぼった場合は、319トンとなり全国で5番目に多い生産量となります。

水稻栽培に適した平野地域の東北や九州ではない、中山間地域で多く生産している理由は、20年前から生産に取り掛かっている地域であること、米粉加工者である増田製粉や米粉商品加工者であるおこめん工房という1次から3次までの企業がコンパクトな範囲で情報を共有しながら生産していることが要因と考えられます。



## ■企業から連帯依頼があった

企業との商品開発の課題の1つに、企業から連帯依頼がないことがあります。理由は過疎地域の企業にとって、商品製造にかかる資源活用が多くなり、連帯目的である地域貢献が薄れることにあります。これは21年度のキャリア教育の反省であり22年度、23年度は、課題解決にチャレンジしてきました。23年度の連帯企業から24年度も連帯依頼があったのは、今後継続していくために重要なことと考えています。

## ■1年間の流れを共有できている

探求的な学びは地域との信頼関係が重要ですが、教員の方々は転勤がありその度に、地域と関係を構築しなければなりません。地域側に関係が残る仕組みがあればよいと考えて「地域法人おせっかいさん」を設立しました。今年度は、学校側により安心して頂くため、昨年度までに実践経験があるプロジェクトを再度実施することが良いと判断しました。

## ■増田製粉とは

1889年(明治22年)から広島市で続く“米粉”メーカーです。2017年4月に旧神田小跡地に米粉専用工場を建設され、大和町のお米を中心に米粉製造をされています。主な事業は、米粉、餅粉の製造、その他穀粉製造



増田製粉株式会社



# 企画運営スキーム

生産地の活性化と企業の繁栄をお手伝い

- 米粉情報の提供
- 米粉の提供
- 米粉を使用した商品選定
- 米粉に関するイベント参加

増田製粉

技術の追求を通じて  
食文化の発展に貢献したい

探求的な学び

- 米粉情報収集
- マーケティング
- 商品立案
- プロモーション
- 資金調達
- 催事実施

大和中学校

実社会の課題解決を通して  
地域を元気にしたい

- 学校と企業の調整
- スケジュール提案
- 授業情報の整備

- 専門家やふるさと先生のアテンド
- 運営資本の提供
- 商品のブラッシュアップ

地域法人おせっかいさん  
暮らしやすい地域を目指し支援

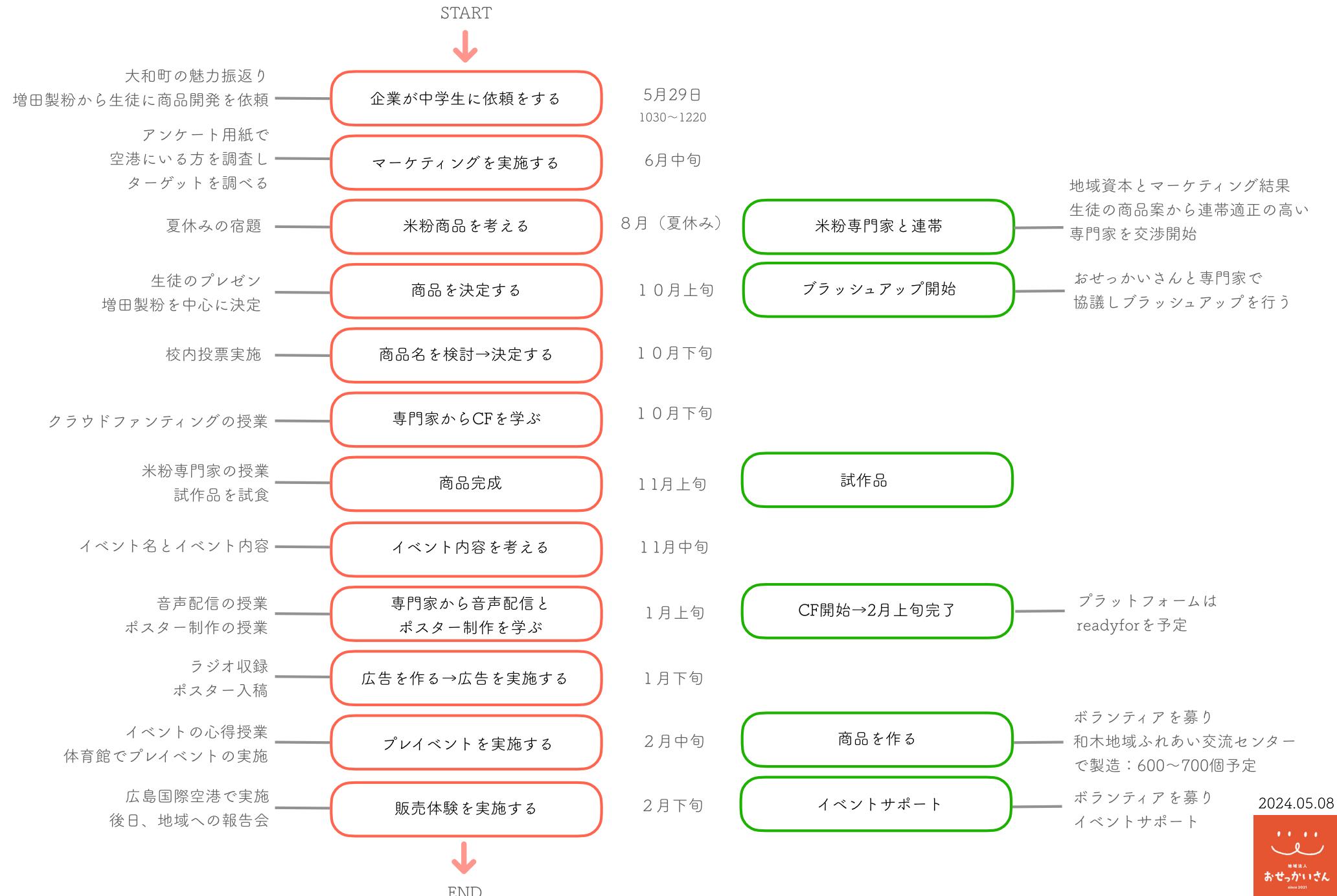
地域連帯学習で社会的自立を目指す

- ・2021年度の商品開発を基軸として、改良を加えた授業構成とする
- ・増田製粉提供の米粉で食品を作り、販売体験イベントを開催する
- ・少しでも多くの方に大和町の米粉の魅力を知ってもらう
- ・イベントは、米粉商品の販売、ワークショップ、トークライブとする
- ・イベント開催時期は、2月22日に行う
- ・運営費は、地域法人おせっかいさんから支出する
- ・学生との連帯を行う（広島大学、三育学院高校）
- ・イベント会場は、広島国際空港とする

2024.05.08



# 企画スケジュール（案）



# 予定関係者

## ■米粉商品ブラッシュアップの専門家

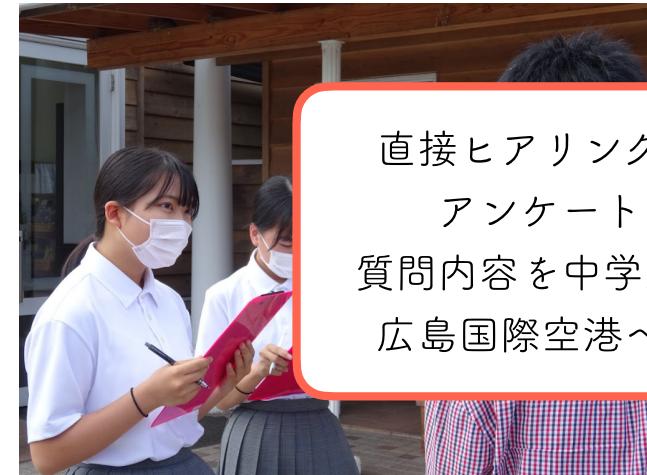
米粉は特徴があるので、米粉商品の専門家が参画

田田田堂/米粉焼き菓子



## ■広島国際空港で購入者(ターゲット) のマーケティング実施

イベント実施場所の広島国際空港でマーケティングを実施予定



直接ヒアリングではなく  
アンケートを行う  
質問内容を中学生が作成し  
広島国際空港へ提示する

空港でのイベントのト雾囲気（広島国際空港株式会社「地域共生事業実績2022年度」より）



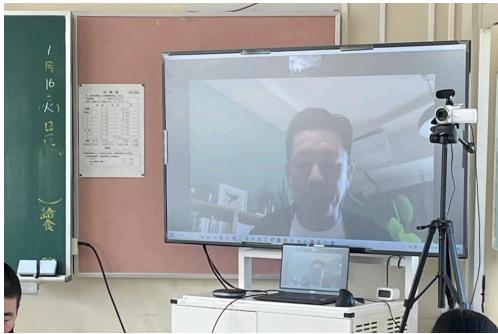
2024.05.08

おせっかいさん  
since 2021

# 予定関係者

## ■プロモーション授業

ポスター制作授業/野村さんを予定（地域法人おせっかいさん）  
※大和中学校卒業生、大手広告代理店で広告デザイン業に従事  
※2021年度から毎年授業をして頂く



音声配信授業/原田さんを予定（FMみはら）

※FMみはらのパーソナリティー  
※2022年度から毎年授業頂く

原田 真弓（はらだ まゆみ）

担当番組

モーニング（火・木） イブニングスペシャル（月） 教え  
て三原 No.2の仕事術 安全安心一ロメモ 中小企  
業の知恵袋

星座

しし座

好きなこと

ミュージカル鑑賞やコンサートに行くこと 一人カラオケ  
(超音痴です)

三原市のおすすめスポット

広島空港 展望デッキ



資金調達授業/松原さん（特定非営利活動方針ひろしまNPOセンター）

※材料費の調達とプロモーション活動

※2021年度に実績あり



特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター  
専務理事・事務局長

松原 裕樹（まつばら ひろき）

[f https://www.facebook.com/hiroki.matsubara.1021](https://www.facebook.com/hiroki.matsubara.1021)

[c chiro\\_matsubara](https://www.instagram.com/chiro_matsubara)

経歴

2001年 広島県立安芸南高等学校 卒業  
2005年 広島工業大学環境学部環境デザイン学科 卒業  
2006年 特定非営利活動法人ひろしま自然学校  
2010年 The Institute for Earth Education  
2011年 株式会社JTBコミュニケーションズ  
2012年 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

## ■サポート授業

大和町の魅力とは？/村上さんを予定（地域法人おせっかいさん）  
※小学校で学んだことの振り返り、昨年度までの大和中学校の取組説明



販売の心得とプレ体験販売授業/村上さんと皆川さんを予定（地域法人おせっかいさん）

※販売時の注意点、体育館でプレイベントを実施



## ■商品製造場所

和木地区ふれあい交流センター（調査中）



2024.05.08

